

第 31 回

平成 31 年 4 月 15 日

No.1509

会 長 穂 田 英一郎

幹 事 河 野 聡

例会日 / 毎週月曜日 12:30~

例会場 / トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

一人一人が主人公

“感動を味わおう”

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp



インスピレーションになろう

2018 - 19年度国際ロータリーのテーマ

「インスピレーションになろう」

R I 会 長

RI第2720地区ガバナー

大分第4グループガバナー補佐

パリー・ラシン

高 山 泰 四 郎

橋 本 均

## ■ 本日のプログラム (4月15日)

12:30	点	鐘	
	会	食	
	ロータリーソング		「それでこそロータリー」
	ゲスト・ビジターの紹介	会 長	穂 田 英一郎
	会 長 の 時 間	会 長	穂 田 英一郎
	出 席 報 告	出席担当	清 水 将 文
	幹 事 報 告	幹 事	河 野 聡
	委 員 会 報 告		「関係委員会」
	ニコニコタイム		東 茂
13:00	オン全州訪問報告		

## \* 今週のお祝い

結婚記念日 高山泰四郎会員 (4月14日)

## ■ 第30回例会の記録 (4月1日)

地区研修協議会の報告

・出席報告 (4月1日)

会員総数	23 名
4 月 1 日	
出席免除	1 名
出席会員数	15 名
出席率	68.18 %
ゲスト	1 名
ビジター	0 名
3 月 18 日	
修正出席率	92.00 %

## ロータリーソング 【それでこそロータリー】

どこであってもやあと言おうよ 遠い時には手を振り合おうよ  
見つけた時にゃ それでこそ  
おいと呼ぼうよ ローローロータリー

## 会長の時間 (4月15日) 会 長 穂 田 英一郎

## 「想えば叶う」

韓国・全州市に行ってきました。本日の後半のプログラムである桜を見る会の私の報告を会長の時間にてお伝えさせていただきます。

まず、毎年お手元に届くクラブ現況及活動報告書にある通り、姉妹クラブ協約を締結しているオン全州RCは当クラブ創立して初めて姉妹クラブ協約を締結した相手です。

当時締結された姉妹クラブ協約は、両クラブの会員がその友情と信頼のもと、両クラブが属する国家の知識と理解を更に深め、よってロータリー精神を高揚し両国家及び世界平和と文化の向上に寄与することを目的とし、両クラブはクラブ会報、所属会員名簿当相互の刊行物、クラブの活動状況を伝える写真等やそれぞれ郷土の産物等を相互に交換し意志の交流を図り、適宜に相互のクラブを訪問し、例会等に参加し目的の成果を高めるため締結されております。

約30年前、当クラブの当時の先輩会員の方々がオン全州RCへ桜の苗木1985本(先方クラブ会長のお話では輸送途中で損傷等があり1900本になったそうです)を送りました。当時オン全州RCは創立5周年であったようです。

その後、先輩会員の方々は幾重にも交流をおこない、両クラブのご子息ご息女の長期休みを利用した短期交換留学など活発に活動されていたと聞いております。直近は2007年でオン全州RCより4名のお子様を受け入れたのが最後の様です。

しかしながら、時代の流れとともに次第に両クラブの会員数が減少していき、(先方のクラブも時期は違うものの同様に会員数の減少があったようです)近年はクラブ同士の相互訪問は周年行事の際のみの交流であるため、直近の周年行事ですと2021年にオン全州RC創立40周年記念式典がありますが、半数以上の会員は海外の姉妹クラブについて交流を持ったことがありません。次の世代へバトンタッチしたとき何も知らないとならないようにしたい、そして先輩会員からしっかりと継承したいと思いい今回の訪問を企画いたしました。

昨年ご挨拶文をお送りし、先方のクラブ会長と合計10回近くやりとりし、今回20数年ぶりに先輩方が植樹した桜を実際に見に行くことができ、海外の姉妹クラブとの交流し相互交流の再興のきっかけを作ることが出来ました。

先方のクラブ会長様とも今後例えば人数や予算を決め相互に行き来し親交を深めようという内容で意見が一致しましたので、是非今後クラブ運営の一つとして取り組んでいただければと思います。

今回の訪問では、非公式訪問であったにもかかわらず77名のクラブ会員のうち10名の会員がお迎えくださり、オ・テシクガバナリーエ

レクトも見えられ、身に余る歓待を受けました。さらにオン全州RCの例会場及び事務局も訪問する事ができました。これもひとえに先輩方の幾重にも重ねた交流の結果だと思えます。参加くださった皆様大変お疲れ様でした。

## 〈卓話の時間〉

## 地区研修・協議会報告

4月1日

### 〈会長部会〉

橋本亜紀子(次年度会長)

会長部会に参加しました。

会長エレクト研修会での内容と重なることも多かったのですが、来期から「新クラブ戦略計画」が始まるというお話がありました。戦略計画とは、クラブが数年後どうありたいか、夢をまず描きそれを実現していくものです。短期間で成果を出すためには、エネルギーと強い意志が必要となります。クラブ全員のエネルギーと意志が必要というわけです。

そのために、まず私を含め1人1人がロータリーについて学び、知識をつけ、それを実践していくこと。それが自信となり、エネルギーとなり夢を実現していけるのではと感じました。

来期はロータリーの基本である自クラブ例会の充実をはかり、ロータリーについて学び、実践していきたいと考えています。

### 〈幹事部門〉

高橋道成(次年度幹事)

各クラブの次年度幹事部会に参加してまいりました。

あるクラブで使用している資料を元に勉強を行いました。1年間のスケジュールから毎月・毎週行わなくてはならない幹事の仕事をわかりやすく講義してくれました。その後、各テーブルごとに分かれグループディスカッションを行いました。各クラブとも同じような問題点を抱えている中で、幹事として何ができるのか?どうすればクラブが活性化するのか?など本質に迫るディスカッションとなり、大変質の濃い幹事部会でした。

以上をもって報告とさせていただきます。

### 〈管理運営部門RLI委員会〉

高野 太(次年度副会長)

#### 1.管理運営部門 運営方針①

・『会員満足度100%のクラブ作り』を運営方針として、有意義な情報の発信・収集・共有に努め運営していく

#### 2.管理運営部門 運営方針②

・会員へのサービス(奉仕)の充実と、会員によるサービス(奉仕)の最大化を目指し管理運営委員会とRLI委員会を運営していく

#### 3.RLIとは

・RLIとは、「ロータリー・リーダーシップ研究会」の略で、ディスカッションの場で参加者ひとり一人が積極的に参加し自由に語り合う研修会等のことです。

#### 4.RLI運営方針

・ディスカッションを通じて、ロータリーの理解を深め、ロータリー活動へのモチベーションを高めていくことを目的とする

### 〈管理運営部門〉

清水将文(次年度プログラム委員長)

部門長あいさつ並びに部門運営方針

委員長挨拶並びに委員会運営方針(管理運営委員長・RLI委員長)クラブ管理運営委員会・委員長の役割と責務

出席について例会プログラムについて

上記プログラムにおいて部門長及び各委員長(副含む)が講義形式にて実施されました。

今回学んだことを、次年度に活かせるよう考えていきたいと思えます。

## 幹事報告

- ・RLIパート I 出席予定者 河野・高橋・姫野  
4月20日(土) 9:20~16:45 ホルトホール大分  
懇親会 18:30~20:30 レンブラントホテル大分
- ・人吉中央RC創立30周年記念式典及び祝賀会御礼

## 例会の予定

- 4月22日(月) 藤田敬治会員・河野 聡会員の卓話
- 5月13日(月) 高野 太会員・高橋道成会員の卓話
- 5月20日(月) 次年度全員協議会(1)
- 5月27日(月) 次年度全員協議会(2)
- 5月6日(月・祝日) 玖珠・日出との合同親睦会  
15:00~ OBSボウル

## 理事会報告

4月1日午後1時半~理事会議事録

出席者 穂田、木村、吉良、松浪、高橋、河野

議題1 6月17日の定例会〔夜例会〕について

高山ガバナリー年度であり、高山ガバナリーの奥様もお招きするにあたり、家族の会にも参加を呼びかけることについて

【決議】 異議なし。

議題2 5月6日の3RC合同例会は、例会扱いではなく、親睦会とすることについて

【決議】 異議なし

議題3 韓国全州市訪問〔非公式〕にあたり、出迎えをしてくれるオン全州クラブの会員の昼食代や旅費、こちらから持参するお土産代などを当クラブ会計から支出することについて

【決議】 当クラブ参加人数8人×1万5000円を上限として支出することを承認。

## ニコボックス

★藤本 保会員(1口)

5月6日は学会の役員会で東京出張の為、欠席させていただきます。申し訳ありません。お詫びに1口致します。